



NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース

2月号(通算261号)
2019年(平成31年)2月1日発行

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会
理事長 川上 浩
〒590-0077 堺市堺区中瓦町2-3-29
(瓦町ウエビル4F)
Tel & Fax : 072-233-0531
e-mail : sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL : <http://sakai-kanbora.org/>

平成最後の新年祝賀会
1月16日当協会員が集合！
盛大に開催されました。

当協会の新年祝賀会が、平成31年1月16日ホテル・アゴラ リージェンシー堺「利休の間」にて開催され、総勢200名近くの方が出席された、盛大な新年の会となりました。普段はそれぞれの案内場所で活動する、会員260名が在籍する協会の交流の場であり、お客様に喜んで頂ける堺の観光案内を心掛け、自ら勉強し研鑽をして、ボランティア活動をする協会員の皆さんの労いの場でもあります。今年は、百舌鳥古墳群が世界文化遺産登録される事を願い、多くの会員は、古墳を見に来られるお客様をどの様にお迎えするのか？が、大きな課題となっています。

宴会初めに、川上理事長より新年の挨拶がありました。昨年とても印象に残った事は、堺が台風21号の直撃を受けたこと。そして、大仙拜所前でエコモスの調査員の方から、「いつでもface to faceで、無料で案内をきけるところは世界で此処だけです。」とのお言葉を頂いた事です、と。世界文化遺産登録の内定、決定を迎えるだけでなく、今年の春季文化財特別公開では、美原区在住の方々の希望や協力のもと、初の美原区での公開実現の予定もあり、メディアでの堺の紹介もあるでしょうと話されました。最後に、堺の宝になるべく堺観光ボランティア協会になれるようにと、これからの協会活動のあるべき姿のお話をして頂きました。

ご来賓の方々の挨拶では、堺市文化観光局 局長 宮前 誠氏から、堺という町を知って頂き、また来て頂けるように、行政としても頑張っていきますとのお言葉を頂きました。(公社)堺観光コンベンション協会 事務局長 佐藤 郁子氏からは、世界文化遺産登録が目前ですが、今は観光資源をスマートフォンで見て、そこに行けるにもかかわらず、face to



faceで、人の声で案内出来る事が素晴らしいとのお言葉と、これからもヒューマンタッチの案内と、観光の発展を願っています、とご挨拶頂きました。

永年活動者の表彰式では15期生出席者11名が、川上理事長より表彰を受けました。また、本年



も青竹の徳利とお猪口を、21期会員の槇氏と新年会幹事の皆さんに作製頂きました。この青竹で、堺の銘酒「千利休」の香りが一段と増し、会員たちの会話が弾むことに一役買っていたようです。衣装にもお正月らしさをみせた古墳ダンスと、昨年大ヒットした「USA」のダンスの披露、会員の北風氏による素晴らしいピアノ演奏で雰囲気たっぷり。ゲスト余興では、笑福亭松枝師匠の松枝の寿噺で、プロの味を堪能致しました。次に、お揃いのユニホームでぶかぶか倶楽部の皆様が、ハーモニカ演奏に来てくださいました。会員の参加で堺検定や、大じゃんけん大会もあり、宴会の最後には、例年楽しみにしている堺観光ボランティアの歌を大先輩達を中心に歌いました。そして、いつもお元気な当協会 前顧問 森田 兼夫氏よりお客様へのご案内が200万人突破の労いと、これからの協会へ応援の言葉を頂戴し、最後に前理事長 高三氏の中締めで、あっという間の3時間の宴が終了となりました。

おもてなしの心と、コンプライアンスを意識して、当協会の皆さんと共に、堺に来られるお客様を、これからも沢山お迎えしていけたらと思える一日となりました。(八木 さおり)

◇ 「堺区 気づきのボランティア講座」に参加して

【山本 萬寿美】

1月18日、堺市総合福祉会館にて、70歳、80歳、90歳になっても元気に活動する5名の堺市内でボランティアをしている方のお話を中心とした「堺区気づきのボランティア講座」が、開催されました。

- ・お一人暮らしの高齢者を月1回訪問する活動をされている「見守り声かけ委員会」の木寺さん。
- ・各種イベントや幼稚園・小学校で折り紙の講習をされている「堺SA」の畑田さん。
- ・地域社会に役立つイベントや風景のビデオ制作をされている「ビデオサークル堺」の柴辻さん。
- ・奥様を亡くされて「一人で生きていかなければならないと思った時に食生活の大切さを感じた」と話されていた、食生活改善の啓発活動をされている辻本さん。

そして、NPO法人堺観光ボランティア協会の代表として参加された中西美恵子さんは、「堺を愛し、おもてなしの心をこめて観光ガイド活動をしています」と胸をはってお話してくださいました。



中西さんは、今回の中では一番年下の70歳代の代表でした。平成9年、当協会に入会された第5期生で、現在もツアーガイド部に所属してバリバリにガイド活動されています。日々後輩の指導もされながら、会員のお母さんのような存在です。「緊張感と達成感、これがあるから続けられたのかな、人生最後の思い出は堺観光ボランティアでの活動かも」と以前お話をされていました。

また、この日発表された皆さんが口を揃えて「まずは行動をおこしてみる。やってみないとわからない。」とおっしゃいました。チャレンジ精神が大切ですね。堺には各種ボランティア団体が250余あるそうです。探してみてください。きっとやりたいことが見つかると思います。見学していた私たちは、まだまだひよっこです。良いお手本を見せていただきました。これからも宜しくご指導お願い致します。

☆ 2月号 インデックス (目次)

巻頭言「平成31年 新年祝賀会」	P 1	定点ガイド部	7
特集「堺区気づきのボランティア講座」	2	広報部・インフォメーション・ガイト MEMO 他	9
<各部ニュース>		《あらかると》「南区法道寺」	11
事務局	3	トピックス「北向道陳忌」	13
総務部	3	トピックス「会員交流会・高槻市」	14
研修部	4	[ガイド実施報告 (VRも)]	15
事業部	5	【平成31年2月度月間予定表】	20
ツアーガイド部	5	[平成30年12月 活動実績と内容]	21
企画部	6		

事務局ニュース

* 運営委員会報告

平成31年1月7日(月)14時から、堺市総合福祉会館にて運営委員会を開催しました。
各部門からのニュースを参照願います。

* 理事長報告

- ①履中天皇陵古墳の鳥居が、3月の平日(日程未定)に建替えられます。素材は桧です。
- ②1月7日から、3月まで毎月第一月曜日に阪急グランドビル30階で、百舌鳥古墳群、古市古墳群の解説、そしてVRツアーを実施します。第1回目終了後のアンケートによると、参加されたお客様は当然ですが、古墳に関する興味が大きかったです。

* 事務局

① 外国人旅行者動向調査の途中経過の報告

- ・現在アンケート回収件数：2018年11月現在で、99件
- ・国籍：台湾が4割、次いで中国、ヨーロッパ、アメリカ、東南アジア
- ・年齢：10代から39歳が8割
- ・訪日回数：5回以上のリピーターが一番。個人旅行者が6割
- ・交通手段：電車、バス。 宿泊：24%と低い。
- ・来訪場所：伝統産業会館、堺市博物館、仁徳天皇陵古墳
- ・お土産：刃物、和菓子、抹茶
- ・堺のイメージ：「歴史や伝統が息づいている都市」「自然が多く落ち着いた都市」

② 1月の定点配置の状況

本年月初めの欠員状況は、27か所(昨年21か所)と比較的落ち着いていますが、昨年との違いは福助展を本年は実施しなかったことによります。

※ 運営委員会における各部からの活動報告については、各部門のニュース欄を参照願います。

◇ 各部門からの連絡・報告

総務部ニュース

* 会員の状況

1月は、正会員の桧垣幸男さん(21期生・平成26年入会：運営委員)が退会されました。
この結果、2月1日現在の正会員数は247名、休会会員数は7名、賛助会員数は7名となり、総会員数が261名です。

* 平成31年「新年祝賀会」が開催されました

平成31年1月16日(水)12時から、「新年祝賀会」を、ホテル・アゴーラリージェンシー堺で開催しました。

外部招待者11名と会員の参加が185名と創立以来の最多数の参加があり盛況でした。

* 平成31年「春季特別公開」の予定と「3月活動予定表」にお願い

春季特別公開が3月29日(金)～3月31日(日)の3日間開催されます。
みなさまの日程を調整していただいて、この期間の積極的な活動参加をお願いいたします。

*** 1月から「会員用のメールアドレス」が変更になっています**

1月4日から会員用のメールアドレスが変更になっています、旧会員アドレスは1月下旬で廃止になります。お手持ちのパソコンのアドレスの変更をお願いします

研修部ニュース

*** 全体研修会「百舌鳥古墳群の魅力を語る」を実施します**

本年度第2回目の全体研修会「百舌鳥古墳群の魅力を語る」を実施します。
講師は堺市博物館学芸課長の白神典之氏。3月20日(水)と26日(火)のいずれも午後2時～4時過ぎの予定。場所は堺市博物館地下ホールです。百舌鳥古市古墳群が世界文化遺産に登録される気運がたかまっていますので、全国各地や世界中から来られる多くのお客さまに、大いに百舌鳥古墳群の魅力を語っていただけるように企画しました。
協会ニュース3月号に同封される、3月活動予定表でお申し込み下さい。
なお、申し込みされた方は、お忘れなくご参加いただくようよろしくお願いいたします。

*** 平成30年度会員交流会**

1月22日に大阪府高槻市の今城塚古墳や新池埴輪制作遺跡などを回るコースで、44名の会員が参加しました。皆さん古墳や歴史館など熱心に見学し、また会員同士の交流を深める良い機会となりました。

*** 28期生対象の入会后定点実地研修を開催します**

28期生は先日の新年会でも埴輪の会としてのご挨拶がありましたが、12月からの大仙と展望ロビーの定点活動に加えて、2月には南宗寺、千利休屋敷跡など他の定点の実地研修を行います(詳細予定は別記)。3月からは全ての定点活動配置になる予定です。
よろしくお願いいたします。

☆ 28期生入会後の研修予定表

月	日	曜	時間	場 所	時間	場 所	時間	場 所
2	1	金	10:00	南宗寺	13:30	さかい利晶の杜		
	4	月	10:00	南宗寺	13:30	さかい利晶の杜		
	14	木	10:00	千利休屋敷跡	13:00	山口家住宅	14:50	清学院
	22	金	10:00	千利休屋敷跡	13:00	山口家住宅	14:50	清学院
	25	月	10:00	堺駅観光案内所から西コース	13:00	堺駅観光案内所から西コース		
	28	木	10:00	堺駅観光案内所から東・北コース	13:00	堺駅観光案内所から東・北コース		

事業部ニュース

各プロジェクトの活動

(華美芝居部隊)

- ・1月18日(金) 北向道陳忌 妙法寺 華美芝居公演
「茶々の会」の呈茶おもてなし、堺市博物館の矢内学芸員の講演が好評でした

- ・2月23日(土) 堺事件を語り継ぐ会 妙国寺 華美芝居公演予定

(鉄砲鍛冶屋敷調査)

- ・12月13日(木) 主屋土間調査、七輪・十能・土製すのこ・鉄製すのこ等

(JA堺市「CROP」)

- ・1月10日(木) 南区大森を取材
- ・2月8日(金) 北区中村町を取材予定

(呈茶チーム)

- ・1月18日(金) 北向道陳忌 妙法寺 呈茶おもてなし

(音曲組)

- ・1月16日(水) 新年会 ホテル・アゴーラリージェンシー堺で協会の皆様に新作「USA」を披露しました

ツアーガイド部ニュース

* 「阪堺電車勉強会」を行いました

1月29日(火) 9:30~12:00 若い期を中心に1年に1度の勉強会です。
詳細は次月号で報告致します。

* 「1月の堺自転車ツアー」を行いました

1月13日(日)に南海堺駅観光案内所に集合して、10か所以上の寺社を自転車で初詣をしました。3名の参加者でした。

* 「ぐるっと堺勉強会」を行います

2月12日(火) 9:30に「かに道楽前」集合で、バス案内の勉強会を行います
クリーンセンター臨海工場とJグリーン堺、多治速比売神社等を見学、拝観をしながら、バスの中案内を交代で行う勉強会です。協会員の方対象で、受付締め切りは1月31日です。

* 「2月の堺自転車ツアー」

2月11日(月)大仙観光案内所に9時集合、自転車で古墳群めぐりをします。

★ 平成30年12月度ガイド実施報告

○ 総件数 34件 / 案内の総人数 1,170人 / 派遣ガイドの総人数 81人

※「ガイド実施報告」「VR体験ツアー実施報告」の掲載について

今月号は、P15~P19に掲載していますので、ご覧ください。

企画部ニュース

* 広域連携関連

①南海・歴史探訪ガイドウォーク 12月17日に広域連携ガイドウォーク実行委員会が開催され、2019年度はサブタイトル「あなたの知らない歴史秘話」で5回開催することが決まりました。また富田林のボランティアが初参加されます。堺観光ボランティア協会は、5月26日(日)にサブテーマ「家康の命を救った木地屋の夕雲開き」で第1回目を担当します。

②大阪・奈良歴史街道リレーウォーク 12月25日に実行委員会開催され、2019年度の第5幕はサブタイトル「街道沿いの伝統産業やグルメを訪ねて」で11回開催することが決まりました。堺観光ボランティア協会は、2020年3月18日(水)にサブテーマ「さかい伝統産業の製造現場と利休・晶子が愛した銘菓」を開催します。

③大阪信用金庫100周年記念チャリティウォーク 12月3日に大阪府・堺市・産経新聞と打ち合わせを行い、3月23日(土)開催のチラシ、ルートについて決まりました。タイトルは「大阪信用金庫×大阪ミュージアム チャリティー歴史&健康ウォーク」で、3ルートは、北コース：竹内街道と百舌鳥古墳群 約10km、中コース：西高野街道と百舌鳥古墳群 約9.7km、西コース：紀州街道と利休・晶子 約10kmとし、堺観光ボランティア協会は定点ガイドを担当し、6ヶ所定点/コースで2名配置/定点で、計18名が定点配置に付きます。

◇ 大東市との広域連携で「堺のニュース観光まちおこしと三好一族」を講演 【小川 正夫】

大東市では、「三好長慶&飯盛城 市民サポーター養成講座」を市の公募委託事業として実施し、「三好長慶」でまちを活性化し元気なまちづくりをめざしておられます。

三好一族の広域連携では、大東市さんは新参ではありますが、大東市観光ボランティアガイド「やまびこ」が中心となり、市を挙げての積極的な活動を展開されています。

堺にも堺まつりのパレードには武者行列で参加頂いていますが、鎧兜などすばらしいものを自作され、火縄銃も、なんとクラッカーを仕込んで「発砲」できるものを自主開発されるなど、この面では我々は完全に追い抜かれてしまいました。

堺の三好遺跡巡りにも何度かお越しいただいておりますが、今年度は大東市での養成講座への講師派遣の依頼を受けました。四国三好長慶会のドン出水先生や、三好の研究者として有名な天野先生などのお歴々が講師をされている講座で、堺の観光ボランティアが講師を務めるのは荷が重いと思いましたが、お引き受けすることになりました。

思えば我々堺観ボラも「観光ホスピタリティー養成講座」という市民講座が出発点で、そのお話もすればご参考になるのではと、観ボラの歴史も交えて、堺が三好一族を観光コンテンツとして取り入れた経緯、堺の三好一族の遺跡巡り、などのお話をさせていただきました。

お隣の四条畷市の観光ボランティアガイドの皆さんも交えて20名の参加者の方々が、90分の予定が30分もオーバーしてしまいましたが、最後まで熱心にお付き合い頂き感謝の至りです。

終了後の皆さんの新年会にも参加させて頂き、アフターでもしっかりと大東市＝堺市の連携をしてまいりました。



定点ガイド部ニュース

* さかい利晶の杜で企画展「黄金の茶室がやってきた」が開催されています

さかい利晶の杜で1月25日(金)～5月6日(月)企画展「黄金の茶室がやってきた」が開催されています。

黄金の茶室は、豊臣秀吉が大阪城内でつくらせたといわれる移動可能な組み立て式の茶室(復元、京都市蔵)です。企画展では、千利休、豊臣秀吉ゆかりの黄金の茶室を展示公開し、背景となる晩年の利休と秀吉について解説がされます。

新春の堺で黄金に彩られた茶室とお道具の前で、ひと時をお過ごしください。

* 「自転車博物館ガイド勉強会」を開催します

自転車博物館サイクルセンターにご協力頂き、毎年開催しています自転車博物館ガイド勉強会を、今年度は3月13日(水)に開催します。10時～12時、会場は自転車博物館多目的ホールです。28期生及び受講を希望される方は3月活动予定表の行事予定に「○」印を記入しオフィスに提出ください。制服・名札着用です。

尚、定点配置に支障が出るようであれば調整させていただきますので、ご了承ください。

* 1月11日(金)全体部会を行いました

下記は、各定点の12月の「日誌」から抜粋したものを掲載しています。

A グループ (川上由)

* 堺市役所 21階展望ロビー (担当：平野・大北・南野)

- ・東京からの初老のご夫婦。堺は歴史の街と聞いてきたが、形の残っている旧跡がほとんどなく残念。ただ古墳は1,500年前の形がそのまま残っており感激しました。大切に後世に残してほしいと言われました。
- ・堺の男性。先月の文化財公開で全箇所観光、丁寧に案内してくれた男性ガイドの知識とマナーに感銘を受けました。とても良かったので観光ボランティアに興味を持ちました。
- ・写真マニアの方。夕日の撮影まで時間があるので堺港の景色を撮影し、また時間までに戻って来ますとのこと。夕日スポットの時刻表示は助かります。

* 堺駅観光案内所 (担当：重永)

- ・堺駅西口にある与謝野晶子銅像の筆は折れたままの状態でしたが、補修工事により折れた筆が手から抜かれた状態になっています。(12月25日現在)
- ・呂宋助左衛門像の所でカメラ撮影されていた70歳台の羽曳野市からの男性に、燈台、相撲場、蘇鉄山、堺事件碑等を案内して巡った。なかなか歴史好きで、来年もぜひ堺に足を運びたいと。東西方面のアクセスの便が悪いとのことのお声もいただきました。

* 大仙公園観光案内所 (担当：川上由・堀・江川信)

- ・12月18日韓国慶州市の市長・議長ほか10名が来られ、5分ほど案内しました。この後、博物館・VRに行き、堺市長を表敬訪問されるとの事でした。
- ・白杖を持った3人の中年男性の関東からのお客様。一人は全盲の方で、説明を聞いてくれるだけでしたが、説明を終えるとここへ来て良かったと言ってくれました。
- ・堺在住のご家族7名。小学3年生の男子が古墳のことをよく知っていて、おじいちゃん、おばあちゃん、ご両親に説明したので、「サポートご案内」となりました。

B グループ (戒田 啓二)

* さかい利晶の杜 (担当：松村・柳)

- ・ベトナム観光会社の職員研修で20人が来日。案内の方が堺の方で穴場を紹介してくれて大いに堺をPRしてもらいました。
- ・12月7日晶子関連のイベントが今日はサンスクエア、明日は利晶の杜であるため、愛知や北海道など遠来のお客様が多数来られていた。
- ・地元に住んでいた女性は「こんなに堺の事を知らないとは思っていなかった」とおっしゃり、「もっと子供たちに歴史を教え、堺出身であることを誇りに思える教育をしてほしい」というところで意気投合しました。

* 千利休屋敷跡 (担当：辻・梅影・林マ)

- ・長野からのご夫婦。大仙と展望ロビーに行かれるというので割引タクシーを紹介。「こうした制度があるのはいいですね」と喜んでいただきました。
- ・東京からの同窓会できた男性に「石津の乱」について質問を受けました。
⇒石津の乱とは、南北朝時代の1338年石津において、南朝方の北畠顕家と北朝方の高師直が戦った合戦。

* 山口家住宅 (担当：今村・西岡英)

- ・韓国からの青年。ビジネスで昨日から来日中。4日間滞在予定。日本の印象は清潔で穏やかとの事でした。別の韓国の方は快くアンケート調査に協力。私は日本が好きになり日本人と仲良くしたいと握手してきた。日本の景色・文化がとても気に入ったと言われた。
- ・堺市の方2名。写真を撮りに来られた。時代劇の撮影に使える所を捜していると。
- ・アメリカ人夫婦。英語パネルを利用して案内。日本語はまったく話せないが細部をゆっくり見学されて満足された様子でした。

* 清学院 (担当：澤井・林茂・佐野)

- ・堺市教育委員会適応指導教室(スプリングポート)小中学生のグループ31名が2班に分かれて来館された。グループ長が説明後に補足という形で案内された。細かいところまで予習しており感心しました。
- ・若い歴史好きの方から、「堺散策時、宿院で見た灯籠に“左海”とあり包丁組合寄進と聞いていた。清学院の版木に『左海』とあるので講の人達にも包丁鍛冶や鉄砲鍛冶が多かったのでしょうか？」との質問がありました。
⇒講中額に講元として記名されている「石割 伊兵衛、石割 万右衛門」は、堺たばこ庖丁鍛冶の中心であった石割家の人であろうと思われる、「田中安兵衛」は鉄砲鍛冶と思われる。清学院講の人達は、堺北郷に住んでいたたばこ包丁鍛冶や鉄砲鍛冶が中心だったと思われます。

C グループ (上野 数男)

* 南宗寺 (担当：中西慎・澤野・大橋)

- ・京都造形芸術大学の全国の通信教育学生36名が庭の講義の為に来寺された。講義の前に寺内

を案内しました。また、京都精華大学の学生は、聚光院について卒論を書くという事で来られた。千利休を中心に案内しました。

- ・東京から表千家の若い男女。三千家の供養塔では宗匠の名前を石碑で確認しておられた。家康の伝説。堺幕府（三好一族）を説明。家康の死の話は100%信じてもらえた。お客さまも愉しそうだった。
- ・宮崎の夫婦とその一族、計7名。三好家の末裔との事で、家系図を見せてくださった。

*** 妙國寺 (担当：小出・箕野)**

- ・本阿弥光悦法華経8巻に、妙國寺と妙圀寺とあるのは、どのような違いがありますかとの質問がありました。
⇒圀と言う字は、中国唐王朝の則天武后が作らせた文字。現代で使用例を見るのは「水戸光圀」の「圀」に用いられている程度。
- ・守口からの男性。南宗寺のボランティアガイドに勧められて拝観。現地に来て伊賀越えの話を聞いて非常に良かった。堺事件を初めて知り、また友達を連れて来たいと。
- ・東京からの女性。市内のホテルに案内があつて、蘇鉄を見たくて拝観に来た。

*** 堺伝統産業会館 (担当：奥野)**

- ・お香づくりの体験があつて、中国やカナダの方も参加。カナダの方は興味津々の様子で包丁も買われていた。
- ・鳥取の男性。「堺の町がテレビで紹介されていたので」と来館。街並み見学を希望とのことで地図を見ながら説明。

*** 自転車博物館 (担当：大橋・溝)**

- ・ツアーオブジャパンについて参加する国と地域やステージについて十分な説明が出来ませんでした。⇒2018年の参加国と地域、ステージです。
参加チーム：16チーム（国内8、外国は、アメリカ、イギリス、韓国、香港、オーストラリア、イタリア、イスラエル、バーレーンから各1チームで合計8チーム）
ステージ：8ステージ（堺2.6km、京都105km、いなべ127km、美濃139.4km、南信州123.6km、富士山32.9km、伊豆120.8km、東京112.7km）
- ・東京からのお客様。「堺にこんな博物館があるとは知らなかった。来てよかった」と喜んでおられた。

広報部ニュース

*** 「堺から仏教を変えた行基さん」公開講演会を開催します。**

行基生誕1350年、堺で生れた行基さんの業績と教えについて学びたいと思います。
日時：平成31年2月20日14時～16時30分、場所：堺市総合福祉会館6階ホール
第一部【講演】「堺から仏教を変えた行基さん」講師：喜光寺・高次喜勝副住職
第二部【パネルディスカッション】・高次喜勝副住職、堺市文化財課 近藤康司主査
・コーディネーター：柿澤和代会員

皆様のお知り合い、ご近所の方を講演会にお誘いください。まだお席はございますのでオフィスまたは、広報部員までご連絡ください。

*** 会員ページに写真を公開しています。**

新年祝賀会の写真をアップしています。

*** 協会ニュース配布方法について**

先月の活動予定表欄で、協会ニュース閲覧方法についてご意見を頂きありがとうございました。実施にまでにはもうしばらく部内で検討を重ね、事前にお知らせします。

ホームページの中で閲覧して頂く方法を推進させていただきます。

但し、インターネットの環境が無い方には、従来通り紙面で発行させていただきます。今後ともご協力宜しくお願い致します。

《インフォメーション》

*** 語学同好会のご案内**

「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録に向けての活動が進んでいます。

来堺される外国の方々に 外国語で堺のまちを紹介しましょう。

会の名称	開催日	開催時間	開催場所
・英会話サークル	2月 14日 (木)	14:00	堺市立国際交流プラザ6階大会議室
・韓国語同好会	2月 7日 (木)	10:00	堺市立国際交流プラザ6階大会議室
・中国語同好会	2月 21日 (木)	9:45	堺市立国際交流プラザ6階大会議室

※ 上記サークルに参加希望の当協会員は、直接、会場で申し込みください。

《ガイド便利MEMO》

◆ 施設の2月の休館日(休園日)について

・山口家住宅・清学院	(休館：毎週火曜日)	5日・12日・19日・26日
・堺アルフォンス ミュシャ館	(休館：毎週月曜日)	4日・12日・18日・25日 / 11日(祝)は開館
・日本庭園	(休館：毎週月曜日)	4日・12日・18日・25日 / 11日(祝)は開館
・堺市博物館・伸庵	(休館：毎週月曜日)	4日・18日・25日 / 11日(祝)は開館
※ VRツアー・古墳シアターは、18日・25日は観覧できます。		
・自転車博物館	(休館：毎週月曜日)	4日・12日・18日・25日 / 11日(祝)は開館
・堺伝統産業会館	無休	
・さかい利晶の杜	(休館：毎月第3火曜日)	19日 ※観光案内展示室は、無休。

◇ J:COM堺「堺シティレポ」2月の放送予定

堺市広報課より2月のJ:COM堺の「堺シティレポ」放送予定が入りました。放送された場所に行く方法や概要など、問い合わせがあるかも知れませんが、注意しておいて下さい。

『J:COM堺 11チャンネル 15時00分～15時15分、22時15分～22時30分』

※ 特別番組などで放送時間・内容を変更・休止する場合があります。過去の番組は、市ホームページでもご覧になれます。(一部を除く)。



《平成31年2月分》

放送日	番組名
1月26日(土) ~ 2月1日(金)	ふれあいから生まれる交流の輪 (1)
2月2日(土) ~ 8日(金)	未来につながる堺っ子の学び (4)
9日(土) ~ 15日(金)	支え合い、いきいき暮らせるまち 堺 (5)
16日(土) ~ 22日(金)	堺のまちに新しい文化を ~2019年秋グランドオープン「フェニーチェ堺」~ (3)
23日(土) ~ 3月1日(金)	いつでも安全・安心 堺の水 (5)

※ 最新の番組名は、堺市ホームページ内「堺シティレポ」のページをご覧ください。

http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_koho/catv.html

《あ・ら・かると》

* 「南区のニュータウンに眠る 歴史と文化」 NO.6

中世仏教美術の宝庫～法道寺

【竹原 俊一】

今回は堺市南区にある、真言宗「法道寺」をご案内させていただきます。泉北高速鉄道「泉ヶ丘駅」より南海バス「鉢ヶ峯」行きに乗り約20分、「鉢ヶ峯」バス停下車徒歩2分、堺市営公園墓地に隣接する地に法道寺はあります。車の方用に寺院前に駐車場がございます。春は桜・夏は新緑・秋は紅葉に囲まれ、特に寺周辺の桜は堺市で最大の本数を数え、春爛漫の折りにはソメイヨシノ・シダレザクラなど5種類約3000本の桜の乱舞で彩られます。近くには堺市唯一の国宝建築物のある「櫻井神社」・大阪三大妙見の一つ「感応寺」もあり、3月末から4月にかけてのお出かけを是非お薦め致します。

さて真言宗「法道寺」の正式名称は「鉢峯山法道寺」であり、堺市南東部に位置する真言宗の古刹です。その由緒を記す「鉢峯山長福寺縁起」によると、天智9年(670)法道上人により開かれたとされ、古くは「閑谷院長福寺」と言い、子院が49もある大寺院だったそうです。法道上人は、インドから渡来した伝説上の人物で、「飛鉢の法」を行い、靈験を顕示し朝廷の勅願寺になったそうです。又その用いていた鉢を近在の山に埋めた事が、この地域の地名「鉢が峯」のルーツとも言われています。法道上人開基の寺院は西日本に多く、近辺では上神谷地区の富蔵「感応寺」、泉田中「西芳寺」があります。「縁起」によると、第52代嵯峨天皇(809-823)は伝教大師に、第53代淳和天皇(823-833)は弘法大師に、第54代仁明天皇(833-850)は慈覚大師に勅命を下して祈願所にされるなど、皇室からも厚く信任を受けた様です。しかし、残念ながらこの「縁起」内容を裏付ける事蹟は無く、史実とは言い難い様です。実際は、平安時代後期頃に建立された様です。それは、まず寺院に残る最古の文化財が平安後期に集中、又法道上人が開基と伝わる寺院の多くが平安末という点、更に金堂下層から出土した軒丸瓦の年代鑑定より、平安後期の創建と考えられています。通常の寺院建築では、まず金堂、そして食堂・多宝塔へと進むからです。

そして、鎌倉後期から南北朝時代にかけては、食堂・多宝塔他の伽藍及び内部も整えられた時期に当たります。寺に残る年号には、南朝・北朝両方の年号が併存し、和泉地域の複雑な環境が伺われます。その後、戦国期には織田信長の根来攻め等もあり多くの近在の寺社が罹災する中、幸いにも法道寺の伽藍・仏像群の多くが、難を逃れた様です。江戸時代に入り大きな出来事としては、寺号を変更した事です。享保元年(1716)、八代将軍吉宗に長子が誕生します。のちに九代将軍になる家重ですが、その幼名が「長福丸(カトマル)」と名付けられ、将軍家に対する配慮から、同年に寺

自らが寺号を開基の名前より「法道寺」に変え現在に至っています。

それでは現在の寺院をご案内致します。境内には、鎌倉時代後期建築の「食堂」、南北朝時代の「多宝塔」、江戸時代中期の「大師堂」、江戸時代後期の「金堂」・「中門」があり、又重要文化財の「十六羅漢像十六幅」、堺市指定文化財の「阿弥陀三尊図」「金剛力士像」等、豊富な陣容で来訪者を迎えてくれます。

バスを降り徒歩2分で寺院の門前に立ち、下馬石を左足元に見て約20段の階段を上ると、まず最初に私達を出迎えてくれるのは、本寺の入り口にある楼門形式の「中門」と、そこに安置されている堺市指定有形文化財で鎌倉時代に造立された寄木造りの像高約3mの一对の「金剛力士像」です。寺院の境内を守る者として毅然とした姿が印象的です。平成14年から実施された解体修理中に、向かって左側の吽形(ウギョウ)像の右膝部分から墨書木札が発見され、鎌倉時代弘安6年(1283)に造立されたことがわかりました。

その力士像の背後の壁を隔て背中合わせに境内側を向いた処に南北朝時代の「二天立像」も安置されています。楼門は、堺市域では南宗寺中門、菅原神社楼門と当寺のみです。



中門



金堂

中門をくぐると右側には手水舎が有り、正面には法道寺の中心をなす建物、「金堂」があります。五間四方の建物に回廊を巡らす「金堂」は中世仏堂の様式で、江戸時代後期安政7年(1860)頃に再建された様です。内陣には須弥壇上に、いずれも平安時代後期の作で優品と言われる本尊薬師如来像三体と、薬師如来を信奉する者達を守護する、鎌倉時代の作十二神将立像の12体が薬師如来の背後に祀られています。

そして、金堂の左側に目をやると、どっしりとした安定感のある「多宝塔」があります。建立時期は、建築様式又昭和の解体修理の際に降ろされた丸瓦銘より、南北朝時代、正平23年(1368)頃の建立と考えると良いようです。この多宝塔の下層は和様を基調とし、上層は禅宗様の手法を多用した折衷様になっています。上層屋根周りの放射状に延びる垂木、組み物の鯨の彫り物等、大変珍しい建物の様です。写真は、平成31年1月撮影で、丁度塔の修理中で足場が組まれていました。1月中には修理は完了する様です。

更に左に目をやると「食堂」です。僧侶が一堂に会して食事をする場所です。明確に建築年代を示すものは有りませんが、その構造・外観等から判断すると、鎌倉時代後期の建築だそうです。傾きが緩やかな屋根で本瓦葺き、柱は全て円柱、建具は上半分を開ける半葎(ハツリ)が多く使われています。但し江戸時代に内部が改装され、諸仏を安置する仏堂に変わっている様です。全国でも数少ない食堂であり、大阪府下でも、他に野中寺・金剛寺に見られるだけであり、その中でも最も古い遺構として知られています。



大師堂

最後に、正面金堂の右側に配置されているのが「大師堂」です。食堂・多宝塔に続く古い建物です。正面三間側面四間で、正面が葎戸(ハツリ)、側面は引違い戸です。お堂の周りには、四国88の寺院名が石板に刻まれ、お堂を一周すると、簡易な八十八か所巡りが出来ます。

法道寺の中心伽藍を御案内致しましたが、法道寺には、平安時代後期以降の中世の仏像・絵画他が多くあり、和泉

地方に於ける中世の仏教美術の宝庫とも言われています。伽藍内部を日頃は見ることは出来ません。「法道寺の至宝 鉢峯山のほとけたち」(堺市博物館発行)の冊子をガイド役に是非お訪ね下さい。「泉ヶ丘駅」発のバス便は本数が少なく事前に時刻表のチェックをお勧めします。特に初めての方はきっと、泉北にこんなお寺が、と思われるのではないのでしょうか。

《トピックス・1》

* 「枯れ木に花の咲くような・・・」北向道陳忌

【柿澤 和代】

数年前の寒い朝、妙法寺の前を通りかかったとき、副住職の妙章様がひとり勤行をあげておられた。ご住職の佐々木日宏上人は荒行の最中にご不在。聞けば「きょうは北向道陳のご命日」という。利休に最初にお茶を教え、利休の才能を見抜いた茶の湯の先駆者、指導者である北向道陳の命日が、こんな寂しいものであっていいのか？衝撃が走ったことを記憶している。



道陳の菩提寺である妙法寺から毎年1月18

日の命日に「北向道陳忌」の法要をしたいので華美(紙)芝居を創ってと依頼され、資料が乏しい中、利休や武野紹鷗、松永久秀、三好実休らを絡ませた物語を創り、すこしでも北向道陳を知っていただければ、堺の文化の底上げになるのではないかとそんな思いで上演させていただいた。宗教に介入し過ぎではないかとの批判も受けたが、今年で3回目になる堺の「北向道陳忌」も457回忌になる。当協会、茶々の会のお呈茶は室内に茶の香りが満ちあふれ、道陳を偲ぶにふさわしいものであった。

法要のあとの堺市博物館矢内学芸員による学術講座「江戸時代の堺の寺町について」では、宗教においては“没”を重要視する、遠忌法会は厳粛な場であるとともに、人々が集い、催しが行われ、賑わい楽しむ場であると定義された。

妙法寺は、もと南宗寺のあった場所で、この地がまさしく堺の中心、道陳、紹鷗、利休らが参禅していた場所である。道陳の茶の友、武野紹鷗は道陳の茶の湯を「枯れ木に花の咲くようだ」(紹鷗及池永宗作茶書)と評している。

妙法寺が文化財特別公開で知れ渡ったことで北向道陳の娘婿のご子孫、竹田家が和泉市にいらっしゃることがわかり、今年の法要にもご夫婦で参加されたが、北向道陳をいまも家の恩人として崇めているという。枯れ木に花の咲くように、蕾が、すこしずつ膨らみつつある・・・。



お茶席風景



妙法寺・北向道陳の墓

《トピクス・2》

*会員交流会（高槻市）に参加して

【田辺 謙二】



城跡公園 高山右近像

「また来たいねえ!」、「今度は一人でじっくり見学するわ!」の声が盛んに聞こえた会員交流会のフィナーレでした。

今年度第2回目の会員交流会は、「高槻市文化財スタッフの会」の皆様にご協力を頂いて、1月22日（火）に高槻市しろあと歴史館や城跡公園、今城塚古墳などを楽しく、かつ賑やかに堺観光ボランティア協会からの参加者44名が勉強をさせていただきました。

我々一行を乗せた観光バスは、昨年6月に発生した大阪北部地震の影響からブルーシートがまだ点在している高槻市内に1時間強で到着しました。早速、高槻市のガイドさんに、城跡公園や歴史館を案内して頂いたのですが、公園内に毅然と立つ戦国大名の高山右近は、胸に十字架を下げた八頭身の美青年であり、利休七哲の一人として堺にも馴染みのある人ですが、参加の女性達がうっとりとした姿が何とも印象的でした。

そして同じ公園内にある旧笹井家住宅は江戸時代中頃に建てられたもので、今は民俗資料館として開放されています。建屋構造が妻入り、本瓦葺、上屋の扱首（サ）構造など建築マニアには垂涎ものだったでしょう。

その後、寺内町を散策して高槻市役所15階にある中華料理店で昼食を頂きました。その直上が屋上展望ロビーでしたので、食後、皆で眺望を楽しみました。ただ、アベノハルカスの存在は南方向に確認できたものの、その先の堺市内までは遠望できませんでした。他市と比べる必要はありませんが、我が堺市役所21階の展望ロビーは、360°大パノラマ（海から山まで）を満喫できる点、素晴らしい観光スポットであると感じた次第です。

午後からは、本日の目玉「今城塚古墳」の探訪です。古墳は6世紀前半に築かれ、二重の濠をそなえる淀川流域最大の前方後円墳（墳丘長190m）であり、学術的には継体天皇の真の陵墓と言われていますが、何と言っても実際に古墳の中を散策できること、また「埴輪祭祀場」を備えて見学者に古代のロマンを提供してくれていること等に価値があります。「埴輪祭祀場」では、190点の家・太刀・盾・人物・動物などの埴輪が発掘調査で確認された位置に復元配置されていること、それらの埴輪の大きさや向きや数などによって、どんなお祭りをしているのか等をガイドさんから教えて頂きましたが、とても深い意味が秘められているようです。そして墳丘散策では後円部テラス施設や1596年（慶長元年）の伏見大地震で崩れた墳丘部分等を教えて頂きました。

今城塚古墳
埴輪祭祀場

私達が見学をしている間でも、家族連れ、友人同士と見られる人達が大勢見学しており、市民に開放された古墳という印象を持つことができました。最後に見学した「今城塚古代歴史館」や「新池埴輪製作遺跡」でも多くの学びを頂きました。

ここに書ききれないほどの知見を、協会の皆さんと交流を深めながら共有できたことは幸いであります。

最後になりますが、色々と下調べをし、資料を揃えて頂いた研修部の皆様、また、ガイドをしていた「高槻市文化財スタッフの会」の皆様にご心より感謝申し上げます。



★ 平成30-12月度ガイド実施報告 (敬称略)

※ 総件数 34件 / 案内人数 1,170人 / 担当ガイド 81人

ご 案 内						
日 曜	お客様	人数	時間	場 所	担当ガイド	
※ ご案内の様子						
1 土	網明会 (こうめいかい)	29名	10:00 14:00	鉄砲鍛冶屋敷 山口家 利品の杜 利休屋敷跡 仁徳陵 博物館	森口 柴田 友	
	・元の職場のOBと現役さんの年に1回の親睦会。楽しい雰囲気でした。					
	鳴松会 堺支部 武庫川女子大 OB会	10名	10:00 12:30	仁徳陵 博物館/VR 日本庭園 みくに広場	小川正	
	・世界遺産に向けて準備が進む百舌鳥古墳群の姿を観るのが目的でしたが、紅葉真っ盛りの日本庭園を観なくてはという事で、お連れしました。「堺の市街にこんな紅葉の名所があったとは！」とお喜び。					
	東日観光 京都府私立中学校 校高等学校事務長会	11名	10:50 12:50	展望 利休屋敷跡 大安寺 (外観) 南宗寺	松浦	
・南宗寺では、家康伝説に大笑いされたり、終始和やかな雰囲気楽しんでいただきました。						
日立返仁会総会	32名	8:30 16:00	展望ロビー 仁徳陵 博物館 百舌鳥 八幡宮 水野鍛錬所 鉄砲館 清学院	安田 辻中		
・催行日の3日前の通知で大変慌てました。お客様はマナーも良く協力的でしたし、幹事さん、運転手さん、百舌鳥八幡宮の名誉宮司様他の方々に協力いただきました。						
2 日	JR 百舌鳥古墳群めぐり (神戸 大阪市内 堺市 内)	6名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵 大仙公園内古墳 仁徳陵	林茂	
	・古墳めぐり初めての方がほとんどで熱心に案内を聞いて下さり、皆さん「楽しかった!!」と喜んで頂きました。					
	神姫バスツアーズ社支店 「スポーツクラブ21北条」	79名	10:00 15:20	鉄砲鍛冶屋敷 清学院 山口家 本願 寺 妙國寺 展望ロビー 伝産会館 仁徳陵 博物館	小出 川上 由 弘瀬 小川 喜	
	・皆さん堺の歴史を楽しんで頂きました。バス移動が基本ですが、町並散策に徒歩を入れたのは良かったと思いました。盛り沢山のスケジュールと移動時間が短く、ゆっくり案内できませんでした。					
美原区役所企画総務課	52名	11:30 12:45	田守邸 空圓寺 旧黒山郵便局 舟渡池 阿弥陀寺 美原区役所	江川 栄 徳 井 岡崎		
・大人向けコースと子供向けコースに分かれて、上黒山・阿弥陀地区を歩きました。住職の話の聞いたり、古民家の門の中に入り、日頃できない体験が出来たので、お客様には好評でした。						

	三原台1丁東自治会 (泉北三原台)	25名	10:10 15:40	仁徳陵 博物館 利晶の杜 南宗寺 伝産会館 展望ロビー	山端 丸山 ★平岡
	・「今回自治会のツアーで来ることが出来、意外と知らなかったことが多いの気づきました。ゆっくり回ってみたい」「堺の町が、中世～近代と続くユニークな歴史を持っていることの感心と驚き」などと。				
	万葉の会 (埼玉県から)	5名	9:30 14:00	展望ロビー 方違神社 反正陵 閼伽井 磐之姫歌碑 仁徳陵 博物館	中西美
	・万葉集の講座で奈良明日香には良く来るけれど、堺は初めてとの事。方違神社三国山の歌碑を見、磐之姫歌碑の前で朗誦。博物館のシアターも楽しめました。半日の予定が長くなりました。				
	裏千家淡交会 米良社中	8名	9:30 15:40	利晶の杜 利休屋敷跡 南宗寺 展望 妙國寺 伝産会館	西川
	・さすが、淡交会の先生方。基本的なことはすべてご存知でした。和気あいあいと、堺と利休さんを楽しみました。				
4 火	JTB 奥州オフィス 岩手県立住田高等学校	36名	9:00 10:40	展望ロビー 仁徳陵	中村博
	・高校の修学旅行でした。生徒から質問もあり、熱心に聞いて下さいました。				
	吹田市人権啓発推進協議会	31名	10:30 12:00	府大植物工場	田辺 柴田友
	・レタスの即売所に殺到するなどお客様も植物工場見学を十分に楽しんで、お帰りになりました。				
5 水	花紀行 (三重県松阪市観光協会)	3名	11:00 17:30	南宗寺 松井泉 博物館 VR 仁徳陵 利晶の杜 利休屋敷跡	呉竹
	・「生まれて初めて南海電車に乗りました。堺の町がすごい事は噂に聞いてきましたが、解説が入るととってもリアルで凄さを肌で感じる事が出来ました。知り合いや友人を誘って何度も来たいと思いました。アナゴ三昧も素晴らしくおいしかったです。」と、言って下さいました。				
5 水	名鉄観光サービス梅田支店 平野区更生保護女性会	51名	9:50 11:30	利晶の杜 展望ロビー	辻 牧
	・「堺満喫の旅」と銘打たれていましたが、時間のゆとりがなく忙しい案内になりました。				
	JTB 奥州オフィス 岩手県立千厩高等学校	180名	9:00 10:50	展望ロビー 仁徳陵	井藤 上野 柴田友 山田 豊 濱田 岩槻 梶原 田 辺 岡本匡 岡崎
・規律の取れた高校生で気持ちよくガイドが出来ました。堺の偉人、有名人の写真を見せ、誰だか答えてもらいましたが、全問正解でした。堺の町に親しみを持って頂いたと思います。					
6 木	JTB 鹿児島旅行センター 鹿児島県立種子島中央高等学校	22名	9:50 11:00	博物館 VR 仁徳陵	中村博
	・修学旅行で来られました。堺市の友好都市なので、観光部、コンベンション協会からお出迎えもありました。博物館のVRの後で、種子島つながりで、火縄銃の展示を見て頂きました。				
6 木	姫路観光ボランティアガイドの会	14名	10:00 13:00	展望ロビー 妙國寺 本願寺堺別院 山口家 鉄砲鍛冶屋敷 清学院	川上浩 弘瀬
	・町歩きガイドをされている皆さんなので、どこを見ても興味津々で、感想や質問が飛び交います。「銀座通りはなかなか賑やかですね」七まちでは、線香の香り漂う町筋に古い堺を感じてもらえたと思います。				
	Angeltip (エンジェルチップ)	7名	15:00 21:00	山口家 日月園(月蔵寺) 展望ロビー にんにん	川上浩
・神戸、宝塚、松原、堺各地からの皆様。山口家の奥座敷に座ってゆったり案内。小雨の夕闇の中で月蔵寺日月園の光と音を楽しんだ後、桜彩ライトアップを眺めながら展望ロビーへ。空飛ぶ展望台見学。ロビーのライトを消しているため夜景が綺麗。にんにんでミニミニ講演をしてお別れ。					

7	金	阪急交通社 「晶子コース」	9名	10:30 16:20	山之口商店街 開口神社 晶子生家跡 利晶の杜 利休屋敷跡 本願寺 覚応寺	柿澤	
		・本日、晶子さんの140回目のバースデー！時代こそ違え、晶子さんが歩いた同じ空気、青春を駆け抜けた堺の町をドラマチックにご案内するように努めました。女性の方々は晶子さんの生きざまに、一つひとつ共感されます。男性陣には晶子さんの才能を開花させた鉄幹の偉大さ男ぶりを聞いて頂きました。					
8	土	クラブツーリズム 関西テーマ旅行 「堺いいとこどりウォーク」	220名	10:00 15:30	清学院 鉄砲鍛冶屋敷 山口家 伝産会館 晶子生家跡 利晶の杜 利休屋敷跡 紹鷗屋敷跡 南宗寺 仁徳陵	荻野 西本 石川幸 松浦 寺口 藤井安 井藤 金谷 藤井英 矢木 小出 柴田友 山端 長江 森口 加藤 弘瀬 浅川	
		・七道から大仙公園までの道のりでしたが、皆様頑張って歩かれました。					
		NPO 法人ナルク大阪南 「いちちょうの会」	11名	10:00 12:30	仁徳陵 日本庭園 履中陵ビュースポット 博物館	宮尾	
		・大阪からのお客さま。旅慣れていて、堺にも何度か来られているとの事。「今回また堺の良さを発見した、また来たい」と。協会事務局のTel等を伝えました。					
		アドバンテージ堺 (大阪市、柏原市、和泉市、堺市)	16名	13:00 17:05	東雲公園 ミュシャ館 境王子 方違神社 反正陵 関伽井 仁徳陵 博物館 履中陵 経堂/かぶと塚古墳 岡古墳	唄	
・大阪府内在住者の40代から70代の異業種の仲間で作る文化勉強会グループ。堺市内在住者が中心となって作られた事から「アドバンテージ堺」という名に。11月3日に旧市街めぐりを実施したところ、がぜん堺の歴史に興味をわき、今回は古墳めぐりを中心のコースにしたそうです。9キロを4時間で。							
滋賀銀行 神区人権研修会	34名	14:00 15:50	利晶の杜 利休屋敷跡 伝産会館	福井 大橋			
・甲賀市からのお客さまで、堺の町には詳しく、気さくに質問・知識を話されながら利休・晶子の世界を要所毎に確認されるように聞いて頂きました。伝産会館では、様々な刃物に興味を持って見学頂きました。							
9	日	JR 百舌鳥古墳群めぐり	6名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵 大仙公園内古墳 仁徳陵	樽野	
		・横浜から「このツアーのために来ました」というお二人連れ、大阪市内から「今年最後と聞いて」来られた方など、熱心な方々と楽しく歩きました。					
		「FCバス体験試乗会」午前	50名	9:00 12:15	利晶の杜 博物館 VR	西川	
		・堺市の環境関連のイベント。老若男女いろいろなお客様でした。環境問題だけでなく古墳やその他の堺の話を楽しみました。(1・2号車)					
		「FCバス体験試乗会」午後	50名	13:30 16:30	利晶の杜 博物館 VR	川上浩	
・午前の状況を変え、環境の話を短くしてくれたため、案内時間を取る事が出来たかわりに終了後にバス横での質問が多くあり、市の関係者は忙しかったようだ。4号車には、市長が乗車。(3・4号車)							
12月の堺自転車ツアー	1名	9:00 11:00	旗塚古墳 障がい者健康センター 塚廻古墳 大安寺山古墳 茶山古墳 銅亀山古墳	中村博			

					・履中陵が良く見えるというスポットや普段訪れない古墳を巡りました。大変寒くご要望により早く終了しました。	
11	火	第26回堺新発見ツアー 「郷土が生んだ奈良時代の 高僧『行基』の足跡を辿る」	35名	10:00 12:30	家原寺 華林寺 蜂田神社 こぶ政 西区役所	弘瀬 井藤 杉本 ★川 辺
					・行基生誕 1350年の年に行基を偲んでのウォーキング。華林寺もしっかり参拝。最後まで元気に歩きました。	
13	木	群 麻江様 (移動に観光タクシー2台)	5名	11:50 17:00	博物館 仁徳陵 本家小嶋 紙カフェ 菅原神社 妙國寺 日月園 展望ロビ ー	川上浩
					・午前がVRの当番だったので、それを観覧して頂いた後ツアーに同行。京都からの皆様、伊勢丹美術館の方は小西行長の末裔とのことなので、VRの後、ゆかりの松や菅原神社の松などを案内。最後は、展望ロビーのプロジェクトンマッピング。堺のファンが一人増えましたとご本人が言われてました。	
14	金	両備ホールディングス はあもにい倉敷	27名	12:25 12:55	利晶の杜	橋本要 田辺
					・倉敷のカルチャーセンターの方達で茶道だけではなく、史跡を廻るツアー。実質20分で茶の湯館、晶子記念館を駆け足で案内。この後13時から茶の湯体験があるので、その後に利休屋敷跡へ寄って頂くようお願いしました。	
16	日	史好会 379回	8名	10:30 16:00	御廟表塚古墳 定の山古墳 ニサナイ古 墳 トンチン山古墳 文珠塚古墳	瀬島
					・今回は、世界遺産の為に調査した結果、古墳ではなかったという塚跡が多く、結構興味を持って頂いた。これも世界遺産のおかげで、古墳ではないものを古墳だと喜んでいたら、これではっきりしたと言って笑ってもらいました。	
18	火	京田辺市ボランティアガイド協会	18名	10:30 15:15	南宗寺 展望ロビー 利晶の杜 利休 屋敷跡 紹鷗屋敷跡 妙國寺 伝産会 館	柿澤
					・京田辺市のボランティアガイドの皆様「一休さん」が大好き！「地獄大夫」の話のリクエストを頂いたり、歴史の事をよく勉強されているので、どんな案内にも「打てば響く！」心地良い皆様でした。	
19	水	NPO法人シニア自然大学校	59名	13:00 15:00	利休屋敷跡 武野紹鷗屋敷跡 妙法寺 南宗寺 南曜堂	中村博 徳 井 浅倉 平 岡
					・午前中に座学の講義で堺に興味を持たれていました。主な観光場所には、ガイドがいるので「いつ来ても楽しめる」と言って頂きました。それぞれ短い案内でしたが、南宗寺は60分の説明時間があり、枯山水の庭の前で鑑賞いただく時間がありました。	
22	土	文藝春秋 ぶらりわが街大人の散歩	1名	11:30 17:00	本家小嶋 晶子生家跡 宿院頓宮 開 口神社 紙カフェ 薫主堂 山口家	川上浩
					・文春で10年続いている記事の取材。行程は当初の予定の場所は薫主堂のみ。雑談しながら取材の連続、どんな記事になることか。	
23	日	NPO法人堺なんや衆	19名	10:00 12:30	みくにん広場 大安寺古墳 源右衛門 万代寺 百舌鳥八幡宮 光明院 御廟表塚古墳 ニサナイ古墳 府立大学 白鷺公園	國領
					・堺の五街道、全10回シリーズの第10回目(最終回)。絶好の散策日和で快適に歩きました。	

◆ 平成30年12月度 堺市博物館での『仁徳天皇陵古墳 VR (VR体験ツアー)』

担当ガイドとお客様数 ※ 総件数 26件 / 案内人数 1,017人 / 担当ガイド 31人

日・曜	1/土	2/日	4/火	5/水	6/木	7/金	8/土	9/日	10/月	11/火
ガイド氏名	國領 中村博	中辻	木村義	土井	藤井安	樽野	木村義 大北	西井健	樽野	森口
お客様	55名	66名	19名	44名	28名	52名	46名	123名	6名	25名
日・曜	12/水	13/木	14/金	15/土	16/日	17/月	18/火	19/水	20/木	21/金
ガイド氏名	川上浩 宮尾	寺口	寺口	川上由	西井健	奥野	小川正 弘瀬	中辻	中村博	柿澤
お客様	66名	35名	35名	83名	48名	9名	21名	16名	14名	11名
日・曜	22/土	23/日	24/月	25/火	26/水	27/木				
ガイド氏名	土井	木村義	野澤 柿澤	森口	藤井安	山下昇				
お客様	44名	44名	57名	34名	24名	42名				

【一言】

- ・朝一番に鉄砲伝来の地、ロケット発射の地、種子島から修学旅行の団体が来館。古墳以外の話も盛り上がりました。
- ・堺市の試乗（水素ガス搭載型バス）ツアーで沢山の皆様。4班に分かれて97名参加でした。
- ・冬休みならではの、外国から里帰りの方が、お孫さんを連れて来られました。



Happy Valentine's Day

☆ 平成31年2月度 月間予定表

日	曜	行 事	時 間	場 所
1	金	「第27回堺新発見ツアー」 〔冬の酒造巡りと環濠都市堺の散策〕	14:00	集合：南海本線堺駅西側 与謝野晶子像前
4	月	理事会	13:20	堺市総合福祉会館 第1会議室
		運営委員会	14:00	堺市総合福祉会館 第1会議室
5	火	定点ガイド部 Aグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
6	水	予算ヒアリング	9:30	堺市総合福祉会館
		定点ガイド部 Cグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
7	木	予算ヒアリング	9:30	さかい利晶の杜
		定点ガイド部 Bグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
8	金	JA「CROP」取材（北区中村町）	9:30	集合：現地最寄駅（未定）
		企画部会議（見学可）	10:00	堺市総合福祉会館 第5会議室
11	月	「2月の自転車ツアー」	9:00	集合：大仙観光案内所
		「さかい利晶の杜 定例調整会議」	16:00	さかい利晶の杜
12	火	「ぐるっと堺勉強会」	9:30	集合：かに道楽前
13	水	定点ガイド部 全体会議（見学可）	9:30	堺市総合福祉会館
		研修部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館 第4会議室
14	木	ツアーガイド部会議（見学可）	13:30	堺市総合福祉会館
		総務部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館
15	金	事業部会議（見学可）	14:00	山之口商店街プラザ
		＜協会ニュース3月号＞原稿締切り		＜広報部＞
16	土	広報部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館
19	火	「堺観光情報連絡会」	10:30	堺市役所2階
		「広域連携歴史探訪がっどウォーク」実行委員会	13:30	大阪狭山市市民活動支援センター
20	水	「公開講演会」〔行基生誕1350年〕	14:00	堺市総合福祉会館6階 大ホール
22	金	「大仙公園内 周辺施設連絡会」	15:00	花と緑の交流館（予定）
25	月	＜協会ニュース3月号＞発行作業	9:45	観ボラ オフィス
		「大阪・奈良歴史街道リウォーク」実行委員会	13:30	桜井市中央公民館
26	火	定例部長会議	9:30	堺市総合福祉会館 第4会議室
		JA「CROP」編集会議（北区中村町）	14:00	山之口商店街プラザ
【 予告 】				
・春季文化財特別公開「責任者会議」			3月15日（金）	
・町家歴史館勉強会「山口家住宅」			3月19日（火）	
・全体研修会「百舌鳥古墳群の魅力を語る」			3月20日（水）	
・全体研修会「百舌鳥古墳群の魅力を語る」			3月26日（火）	
《春季文化財特別公開》			3月29日（金）～ 31日（日）	
・春季文化財特別公開「報告会」			4月19日（金）	

平成30年12月度 活動実績と内容

< 会員の活動実績 >

会 員	正 会 員 数	248 名
	当 月 全 休 会 員 数	18 名
	会 員 活 動 参 加 数	230 名

定 点 案 内 所	定 点 案 内 所	896 名
	事 務 局 ・ ガ イ ド 事 務	159 名
	展 望 ロ ビ ー ・ 学 童 ガ イ ド	0 名
ガ イ ド 活 動	小 計	1,055 名
	ツ ア ー ガ イ ド	133 名
そ の 他	会 議 ・ 研 修 会 ・ 勉 強 会	144 名
	イ ベ ン ト	0 名
	打 合 せ ほ か	314 名
会 員 活 動 合 計		1,646 名

月/日	そ の 他 活 動 の 主 な 内 容	活 動 人 員
12/ 3	運営委員会 於: 総合福祉会館	30 名
10	H31年春季文化財公開の打合せ	5 名
12	全体研修会 2回目 (「大和川と堺」講師: 小松清生氏)	38 名
12~27	新年祝賀会の準備など	24 名
18	観光情報連絡会 於: 市役所	6 名
19	会員交流会(於: 八幡市)	66 名
26	協会の部長会議 (正副理事長と各部長)	10 名

< 来客数実績 >

定 点 案 内 所 ガ イ ド	(件数)
堺 駅 観 光 案 内 所	50 名
市 役 所 展 望 ロ ビ ー	
一 般	2,230 名
学 童 ・ 先 生	0 名
大 仙 拝 所 前	3,598 名
南 宗 寺	799 名
山 口 家	572 名
清 学 院	284 名
利 休 屋 敷 跡	1,648 名
妙 國 寺	263 名
自 転 車 博 物 館	307 名
伝 統 産 業 会 館	854 名
利 晶 の 杜	1,836 名

ツ ア ー 観 光 ガ イ ド	
ツ ア ー 観 光 ガ イ ド	2,187 名
ミ ニ 堺 駅 観 光 案 内 所	4 名
ツ ア ー 市 役 所 展 望 ロ ビ ー	13 名
ガ イ ド 大 仙 公 園 観 光 案 内 所	47 名
特 別 公 開 な ど	
来 客 数 合 計	14,692 名

当協会の創設(平成7年4月) 以来の御案内人数累計	2,223 千名
------------------------------	----------



堺泉北臨海工業地帯の夜景

【編集後記】

「贈られしひまはりの種は生え揃ひ 葉を広げゆく初夏の光に」

1月16日皇居で開かれた「歌会始の儀」で天皇陛下は平成7年阪神・淡路大震災からの復興の象徴「はるかのひまわり」への思いを詠まれた。退位を控え最後の出席となる見通しの歌会始で、被災者に心を寄せられた。皇后さまに手渡されたひまわりの種は、御所のお庭にも毎年花を咲かせているそうである。はるかのひまわりは、命の大切さを伝える花として全国各地に広がっている。

24年前の平成7年は、まさに当協会が発足した年である。常に新しい事へ向かっている私たちも、大切なものを伝えていく、という事は忘れてはいけない。改めて思いを強くしたお歌でした。

長江 幸代

